

## 基本情報

指標番号  
2001

名称  
急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合

分母  
急性心筋梗塞で入院した症例数

分子  
分母のうち、アスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

指標群  
循環器系疾患 薬剤

意義  
治療内容をみるプロセス指標

年度  
2010,2012,2014,2016,2022

必要データセット  
DPC 様式 1,F ファイル,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。 資源を最も投入した傷病名と主傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

ICD-10 コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3. このうち、退院日が入院後 3 日以降である症例。（入院日を 1 とする）。
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. アスピリンが処方されている症例。 F ファイル、もしくは EF ファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

薬価基準コード 7 桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2022
1143001	アスピリン	○	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○			
3399007	アスピリン	○	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2022
3399103	アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩					○

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。
2. 座薬（サリチゾン座薬：薬価基準コード 1143700J5029）は、ガイドライン（JCS STEMI 2013）では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、2016年の指標定義改訂時に追加した。ただし2014年3月に販売中止となっている。

## 参考資料

### 参考値

1. アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90

### 参考資料

1. Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p. Acute myocardial infarction: percent of patients who received aspirin within 24 hours before or after hospital arrival. 2010 Apr. NQMC:006060
2. 一般社団法人日本循環器学会,急性冠症候群ガイドライン（2018年改訂版）
3. 一般社団法人日本循環器学会,2020年JCSガイドラインフォーカスアップデート版 冠動脈疾患患者における抗血栓療法